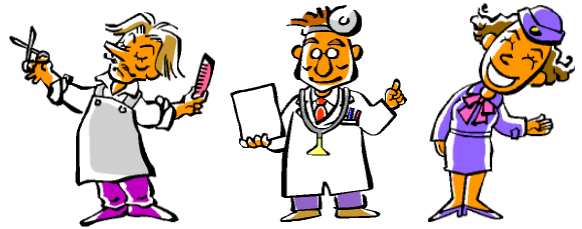


レ ス ス ン プ ラ ン

6 学年 第 1 回 (自己理解①)

テーマ : 「自分の将来を考える」



授業の目標 :

- (1) 自分の将来の夢や人生でやってみたいことについて考えてみる
- (2) 自分の目標を達成するために必要なことを考える
- (3) 実在の人物から目標達成するために大切なことを学ぶ

用意するもの :

	ALT	担当教師
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ALTの“夢の花”の例 <input type="checkbox"/> 世界でこれまでに実現された夢を紹介するための、3枚の写真とクエスチョンマーク「？」の書かれた同サイズの紙 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 担当教師は事前に自分の“夢の花”(将来の目標)を作成し、発表できるように説明を準備しておく。ただし、現在の夢よりは自分が小学生だった頃の目標を生徒たちに示した方が適切だと思われる) <input type="checkbox"/> 事前に生徒たちにも自分の将来なりたいものを考えておくように予告しておく <input type="checkbox"/> “夢の花”説明用マグネット(太陽、土等) <input type="checkbox"/> “夢の花”を作るときに必要な色鉛筆・色ペン・紙など <input type="checkbox"/> 担当教師側でも過去の偉人で夢を実現した実例として紹介したい人物がいればその人の写真 	

時間	活 動	気づいた点
1分	ALT、担当教師はあいさつをし、本時のテーマを説明する。	
5分	担当教師とALTが子どもの頃や現在持っている“夢の花”について子どもたちに話す。	
15分	子どもたちひとりひとりに“夢の花”の用紙が配られる。例を見て、子どもたちは自分の“夢の花”を描く。花の中に自分の夢、将来の希望を書く。	
3分	担当教師が、花を育てるためには日光や水や良質の土が必要であることを説明する。(ALTは例として示した花にこれらの要素を加える)このように、子どもたちの“夢の花”を咲かせるにも、ある要素が必要であることを説明し、子どもたちはどんな要素が自分の花にとって必要かを考える。ALTはどのように自分の夢を実現(できるか)したかを話す。	
7分	子どもたちは自分の“花”に必要な日光や水や土にあたるものを“夢の花”に加える。さらにその目標を達成するために自分がやろうと思う事も加える。	
4分	子どもたちは、2～3人のグループで自分の”夢の花”について紹介し合う。	
9分	ALTと担当教師は実在する3人の人物の写真を1枚ずつ黒板に貼り、それが誰か、何で有名なのか子どもたちに尋ねる。ALTと担当教師はその人がどのようにして目標を達成したかを紹介する。担当教師は用意していた他の人物の例を挙げることもできる。ALTは「？」のついた紙を黒板に貼り、それは誰なのか質問する。ALTと担当教師は一緒に「あなたですよ」と声を合わせて言う。	
1分	担当教師は、夢を実現させるためには一生懸命になりたいもの、やりたいことに打ち込むことが大事であることを強調し、まとめる。	